

暮らしの中の男女共同参画

詳しくは「人権・男女共同参画課」

男女がそれぞれの性別にこだわらず、協力して生きていく「男女共同参画社会」を身近な暮らしの中で考えたとき、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。『育児に積極的に関わっている男性』を指す「イクメン」もその一つです。今回は、『暮らしの中の男女共同参画』について考えてみます。

桶川市男女共同参画都市宣言の基本理念から考える

桶川市男女共同参画都市宣言

男女がともに人間として
自立と平等を基本理念として
性別を超え
世代を超え
多様な生き方を認め合い

自らの意思で
あらゆる分野に
参画できる社会をめざし

ここに桶川市は「男女共同参画都市」を宣言します

市では、平成10年に桶川市男女共同参画都市宣言をしました。宣言でいう「自立と平等」とはどんなことでしょうか？

一般的に「自立」とは、他の助けや支なしに自分一人だけの力で物事を行うことや、独立すること、「平等」とは、偏りや差別がなく、みな等しいことを言います。つまり、個としての人間において、価値に差はなく、「人」として認め合い、だれでも参画できる社会を目指すとしています。

身近な暮らしの中の男女共同参画

次の4つの事例は、実際にあった例です。

事例1 ある共働き夫婦

最近、男性看護師が増えてきた。同僚のS君は「同じ職場のTさんと結婚します。」と以前、メールで報告してきた。妻のTさんのほうが帰りが遅いため、夕食はS君が担当する。1週間、同じ物を作らないように写メを撮り、その日の夕食のメニューを聞けばすぐに答えが返ってくる。掃除・洗濯も暇な方がするといふ。

彼が自前の弁当を広げつつメールを確認する姿に、ベテラン看護師3人はカップラーメンを食べながら感心した。



「均等法から30年、あらたな明日へ」を聴いて



講師 赤松良子さん

昨年8月、埼玉県嵐山町の国立女性教育会館で開催された「男女共同参画推進フォーラム」に参加しました。

今から30年程前、日本の企業の多くは、当然のこととして女性の結婚退職や若年定年制を採用していたことや、定年が男性は55歳に対して、女性は25歳から30歳であったこと。さらに、女性が新婚旅行から帰ると職場に机が無いということも珍しくなかった時代を思い出しながら、講師の赤松良子さんの講演に聴き入りました。

1985年、男女雇用機会均等法が制定され、女性の人生設計と覚悟を大きく転換させるきっかけになりました。法律の制定までには険しい道のりがあり、赤松さんをはじめ多くの先人達の頑張りがありました。

30年たった今、女性と男性の働き方はどう変わったでしょうか。男女が共に暮らしやすい働き方とは何か、法律の意義と共に考えさせられました。現在87歳になられ、元気に演壇に立たれる姿に感動し、心からの拍手を送りました。

(写真提供：国立女性教育会館)
(男女共同参画桶川市民の会・N)

事例2

妻がいないとダメという介護施設で

介護施設に夫が入所しても妻は昼に来たら夕には来ないが、妻が入所すると夫は昼と夕に面会に来る。食事介助のみならず髪をとかしたり顔を拭いたり微笑ましい限りである。一人で家にいたくない、少しでも妻のそばにいたいという。

事例3

退職後の暮らし

定年退職した夫が家にいるようになり、妻は憂うつ…。今まで自分の

事例4 今となっては…… ~ある夫婦の会話~

【20年前】

- 私 「一人暮らしになった遠方の母と一週間過ごしたいので母の所に行きたい。」
- 夫 「俺が定年になったら好きなだけ行ってほしい。」



【現在】※夫「要介護3」。その夫の世話に明け暮れて、86歳の母の所に行くに行けない。

- 私 「今となっては、もう母の所に行けない。」
- 夫 「それは運命だね。」
- 私 「20年前、言う事を聞かないで行ってあげばよかった。」

ペースで家事をしていたが、やはり夫がいるときは掃除機をかけるのも遠慮してしまう。食事が終わって出かけてくれると助かる。三度の食事がやはり大変。「何食べる？」と聞く方も聞かれる方も毎日嫌になつてしまう。料理は脳を活性化させる効果があるとされる。せめてお昼くらいは夫に作ってもらいたい。食後の片付け、洗濯物の取り込みごみ捨てなど、夫に何ができるか一緒に考えてみたい。

意識をカイカク。

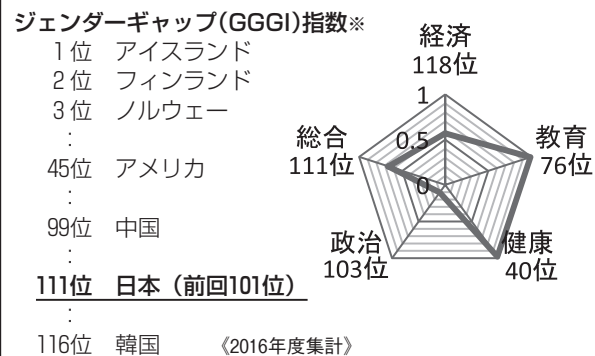
男女でサンカク。社会をヘンカク。*

いかがでしたか。身近な暮らしの中で男女が性別にこだわらず、協力する男女共同参画社会を考えるヒントはあったでしょうか。

事例にあるように、女性、男性に限らず家族のあり方、考え方は大きく変化しています。料理好きな男性や片付け上手な男性がいる一方、それらが苦手な女性もいます。女性だから男性だからという視点ではなく、身近な問題に目を向け、お互いが協力しながら生活する視点と女性の声を発信していくことが、男女共同参画社会を創造することにつながる一歩になります。まずは、お互いを思

データで見てみよう！ 男女共同参画！

世界で比較した日本の男女格差



男性の育休取得率

男性の育休取得率は(平成26年度：男性2.3%、女性86.6%)、10年前の0.5%から上昇傾向にあるものの、女性の取得率と比較すると非常に低水準です。この数値からも育児は女性中心である現状が読み取れます。

※ジェンダーギャップ指数とは…

世界男女格差指数。世界144の国と地域を対象に、政治・経済・教育・健康の4つの部門において男女にどれだけの格差があるのかを指数化し、順位をつけたもの。日本は、特に政治と経済の分野において、女性の参画が遅れていることがわかります。

アソシエを知っていますか？

アソシエは、男女共同参画社会の実現を目指して、学習、交流をするための場所です。1人でも気軽にご利用ください。

- ところ ▶ さくらフレンド(勤労青少年ホーム)
- 開設時間 ▶ 9:00~21:30(原則)
- 広 さ ▶ 約23㎡(10人程度の利用は十分可能です)
- 利用方法 ▶ 予約不要
- その他 ▶ 貸し出し用の男女共同参画に関する書籍などもありますので活用してください。 ※室内での飲食はご遠慮ください。